

**単元名 3 言葉とともに 一言葉1 和語・漢語・外来語**
**配当時間 1時間**

**単元の目標** (1) 和語・漢語・外来語について理解し、相手や場面に応じて適切に使い分けができる。  
 (3) 進んで和語・漢語・外来語を理解し、今までの学習を生かして相手や場面に応じて適切に使い分けをしようとする。

**標準的な展開例**

12210116\_001

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 和語・漢語・外来語を適切に使い分ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★和語・漢語・外来語を適切に使い分けよう。</li> <li>○ 和語・漢語・外来語から受ける印象の違いについて話し合う。</li> <li>○ 和語・漢語・外来語・混種語の性質や特徴について理解する。</li> <li>○ どのように使い分けるのがよいか話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教材文の導入の例を基に、和語・漢語・外来語の表現を比較し、感じ方の違いを伝え合わせる。</li> <li>・ 教材文を読み、それぞれの特徴をまとめさせる。</li> <li>【評】特徴をまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</li> <li>・ 「生活に生かす 和語・漢語・外来語を使いこなそう」(p.79)を読み、生活の中の具体的な場面を想定して考えさせる。</li> <li>・ 様々な場面を具体的に提示し、文章を適切に書き換える問題を用意してもよい。</li> <li>【評】適切に使い分ける活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> </ul>

**【 備 考 】**

俳句は、今日まで継承されてきた日本の代表的な伝統言語文化の一つであり、世界的にも広く知られた短詩型文学である。定型や季語などの約束事を知るとともに、世界で最も短い詩である俳句の豊かな表現力に気付かせ、簡潔な表現に込められた多様なものの見方や感じ方を味わわせたい。

同じ対象を指していても、世代や地域、属する集団によって、それを指す言葉が違う場合がある。また、相手や場によって、言葉の選び方や表現の仕方も違ってくる。よりよく伝えるために必要な言葉の選び方や表現上の配慮などを、大人との接触も増えてくるこの時期の生徒に伝えたい。